

学園 だより

184

2022 Winter

令和4年2月4日発行

〒381-8550 長野市徳間716

TEL026-295-7003 FAX026-295-4356

<http://www.nagano-nct.ac.jp/>

- 2 ■ 卒業式・修了式を迎えるにあたって
- 4 ■ 進学・就職体験記
- 6 ■ 第56回工嶺祭
- 8 ■ 学生の活躍
- 12 ■ 後援会だより／校内短信／表紙のことば



校長
土居 信数

学びの「知好楽」

卒業、修了おめでとうございます。
 論語に「知好楽」という言葉があります。「これを知る者は、これを好むものに如かず、これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」。これに似た言葉に、「好きこそ物の上手なれ」ということわざもあります。
 卒業後も、技術を知ること、技術を学ぶことが好きになり、技術を学ぶことが楽しくあってほしいと思います。みなさんには、15歳から始めた早期技術教育と5年あるいは7年の一貫教育により、他の教育機関で学んだ人に比べて大きなアドバンテージがあります。しかし、このアドバンテージは、「ほーっ」としているときとすぐなくなってしまうかもしれません。学びの知好楽を実践し、本校で蓄えたアドバンテージを駆使の糧のように繋いでほしいと願っています。
 長い人生、良いときもあれば悪いときもあります。調子のよいときはおごりに注意してください。調子の悪いときはくさらないでください。そして、ときどき長野高専のことを思い出してください。時間が経つにつれて故郷や母校のよさが分かってきます。さあ旅立ちの時です。GOOD LUCK!!

いつもありがとう!

5M ヨンイ
(マレーシア出身)



2019年に3Mに編入しました。日本に来たばかりの時、日本語に不安があり、色々な事を試す勇氣もありませんでした。しかし、高専で生活し授業を受けるなかで、だんだんと自信ができました。長野高専で日本人だけではなく、他の国の友人もできました。言葉や文化や習慣の違いのために、誤解が生じる時もありますが、この3年間で得た友情は私の人生の一番の宝物です。
 この3年間お世話になった皆様、本当にありがとうございました! これからも充実した生活が送れるよう頑張ります!

ここが僕の アナザースカイ

5E 北澤 颯大
(飯田市立緑ヶ丘中学校出身)



振り返ればあっと言う間の様で、いろいろあった高専5年間でした。この5年間でどんな5年かと言うと、とても200文字では語れません。ですが、友達や先輩、後輩、力強く、厳しく、導いてくださった先生方、地域の皆さん、いろいろな方のおかげで、高専生活を楽しく過ごせました。特に、先生方並びに事務職員の方々、校長先生、誠にありがとうございます。先生方のおかげで、コロナ禍という環境でも、学びを止めることなく、圧倒的な成長をすることができました。最後に、この素晴らしい仲間達に祝福を!

高専生活を振り返って

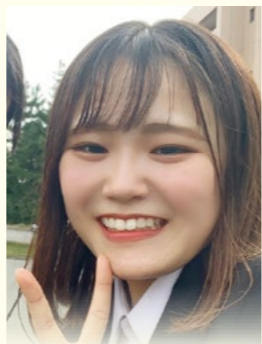
5S 錦山 美智
(長野市立篠ノ井東中学校出身)



この5年間は、長いようで過ぎてみるとあっと言う間でした。振り返ると、勉強や部活に真剣に取り組むことができる環境だったと思います。
 吹奏楽部の定期演奏会やコンクールでは、演奏だけでなく運営にも携わり、様々な経験をすることができました。普通の演奏だけでなく、部活の休憩時間にみんなと遊んだことも大切な思い出です。
 充実した高専生活を送れたのは、これまで支えてくださった先生方をはじめとする皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

恵まれた環境での 5年間

5J 橋本 捺希
(埼玉県行田市立忍中学校出身)



高専での生活は、周りの人に恵まれ、成長した5年間でした。勤勉で努力家な友人達に感化され、私自身も勉強や課外活動を頑張ることができました。英語にハマりオンライン英会話を始めたり、外部のプログラミング合宿に参加したり、海外へ渡航したりと、ここでは上げきれないくらい様々な経験をしました。やりたいことを何でもさせてくれた両親と、切磋琢磨してきた友人達にはとても感謝しています。大変なことも多くありましたが、長野高専で過ごせてよかったです。このことに誇りをもって大学でも頑張りたいです。

5年間ありがとう ございました

5C 小柳 開
(東御市立東部中学校出身)



入学してからの5年間はあっと言う間でした。この5年間は辛い時期もありましたが、多くの人に支えられ、とても充実した高専生活を過ごすことができました。この5年間で充実したものだと思えるのも、ご指導いただいた先生方、学生課の方、一緒に過ごしてくれた皆さんのおかげです。本当にありがとうございました! これからは1人の社会人として、仕事に向き合い、幸せな日々と思えるように1日1日を大切に過ごしていきたいです。

「安心」にありがとう

2AP 北澤 勝文
(下諏訪町立下諏訪社中学校出身)



専攻科への入学面接の際、志望動機として第一に挙げていたものは、『安心して勉強や研究ができる環境だから』というものでした。当時は、安心した環境っていいなぐらいの曖昧さでしたが、今ではそれがどれだけ大事かわかります。何か悩み事や困りごとがあった時に、気軽に相談できる先生や友達がいるということは本当に心丈夫でした。
 修了式を迎えるに際し、安心してできる環境を提供してくださった先生方、切磋琢磨し、時には引っ張ってくれた仲間たちに心から感謝いたします。

愛される社会人に

2AE 赤羽 真和
(長野市立北部中学校出身)



人生の道を決める大切な7年間を、この長野高専で過ごしました。入学時は、将来について何も考えていなかった自分が、今では目指す場所をはっきりと見つけ歩かしています。私はこれから歩いていく力も身につけました。そして一緒に歩く仲間とも出会えました。長野高専で学んだことを自信にして、世界に必要とされ、地域に愛される社会人になれるよう、より一層の努力をしたいと思います。
 お世話になった皆様、本当にありがとうございました!

素晴らしい人生を! 5M担任 宮下 大輔



クリープハイプの「バンド」という曲に「消せるということはあるということ」という歌詞があります。自分に合わないければやめればいだけですが。ぜひ色々なことにチャレンジしてみてください。卒業おめでとう!

幸せの作り手に 5E担任 百瀬 成空



写真は水鉄砲合戦の時のものです。おそらく最後にプールで遊んだクラスだったでしょう。モノだけに限らず楽しいことや喜ばれることを、与えられるのを待つだけではなく自ら生み出していき作り手になれば、その先にはひと味違う人生が待っているはずです。

絆を大切に 5S担任 田中 秀登



学友は、将来にわたって付き合えるかけがえのない仲間です。楽しい時も厳しい時もきっと大切な絆となって、力をくれるはずです。ぜひこの絆を大切に紡いでいって欲しいです。今日までありがとう。そしておめでとう。

ご縁を大切に 5J担任 芦田 和毅



この5年間でつながった人間関係は、今後もずっとつながっていけるものだと思います。この関係をいつまでもつなげられるようにしてください。そして、切磋琢磨して社会から求められるような人になることを祈っています。

多様性を尊重しよう 5C担任 浅野 憲哉



5年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
 多様性が求められる現代において、皆さんが社会の一員であることが社会の進歩や発展に繋がるはずだと思います。高専には個性豊かで優れた方々が多いですが、今後も多様性やダイバーシティを認めて尊重できる人を目指してください。

体験記

就職先に内定した先輩、大学の編入学・大学院入学試験

に合格した先輩に体験記を書いていただきました。

在校生の皆さん、ぜひ参考にしてください。

就職



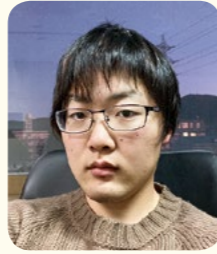
納得するまで自分に合う企業を見つけよう

5S 鹿野 伊吹
(信州大学教育学部附属長野中学校出身)

就職活動を始めたとき、どのような企業で働きたいのか、私は具体的なビジョンが見えていませんでした。それを解決してくれたのは先生や進路支援サイトです。それらを用いて調べれば調べるほど、私が将来どのような仕事をしたのかを明確にしていきました。

私は就活という選択肢を取りましたが、納得できなければ他の選択肢を考えるのもいいと思います。選択肢は無限にあるので時間のある限り考えるといいです。また面接とエントリーシートは重要なのでよく先生と相談して本番に臨むようにしましょう。

就職



やりたいことはやってみる

2AE 徳竹 祐樹
(長野市立川中島中学校出身)

高専在学中には多くの時間がありました。趣味、アルバイト、インターンシップなど自分のやりたいことに挑戦しました。様々な体験を通して自分にできること、もっとやりたいことがわかり、実行に移す力がつきました。また、多くの体験から社会に対する不安も薄くなり、自信に繋がりました。

今年の就職活動も新型コロナウイルスの影響により、私は全てオンラインで行いましたが、自信を持って就職活動に臨むことができました。やりたいことに挑戦することは、自分の支えとなる大事なものだと感じました。

就職



不安になったら周りの人に相談を

5J 篁 優貴子
(飯山市立城北中学校出身)

私の就職活動は不安だらけでした。コロナによりインターンにも行けず、バイト経験もない私が就職できるのかいつも悩んでいました。そんなとき家族が相談に乗ってくれました。そのおかげで、不安が和らぎ、つらい時期を乗り越えることができました。

就職活動について不安を感じていたら、周りの人に相談してみてください。社会人の経験が豊富な人に相談するのがおすすめです。参考になるお話が聞けるとと思います。家族や親戚、学校の先生など、いろんな人にお話を聞いてみてください。

進学



大学編入で転科

5M 勝見 涼太
(上田市立塩田中学校出身)

将来フリーで働きたい。4年の夏休みにそう考えて、長岡技術科学大学の情報・経営システム科を受験しました。

経営スキルが欲しかったこと、複数の分野を掛け合わせることで希少性を出したかったことから、機械以外と経営がセットになったこの学科を選択しました。また試験では専門科目を選択することができたので、情報や経営分野ではなく、得意な機械分野で挑みました。

このように、今まで勉強してきた内容を活かして、違う学科も受験できます。各大学の募集要項で、ぜひ確認してみてください！

進学



暗記と理解

2AP 中村 心哉
(下諏訪町立下諏訪中学校出身)

24681012/43576218

この2つの数値はどちらが覚えやすいでしょうか？1つ目だと思います。これは、2の倍数という各数の繋がり方を理解しているからです。受験勉強はこれと似た所があると思います。無数に出てくる数学や物理の公式も、基礎から順に理解すれば暗記事項は意外に少なく、頭の中もすっきりと整理できます。5年間公式丸暗記でテストを受けてきた私は、本質理解のために遡った結果、高専1年の数学からやり直していましたが...それでも理解に徹する姿勢が、功を奏したと今ならそう思えます。

進学



Self - Promotion

5E 米山 広大
(伊那市立伊那中学校出身)

編入試験には、推薦試験、学力試験ともに面接があります。勉強だけでなく、自分をどれだけアピールできるかが重要になります。自分が合格できたのは、留学や回路設計のアルバイトの経験があったからだと思っています。実際、面接官に『アピールポイントが多すぎるので1番アピールしたいことを教えて！』と笑いながら言われました。何から始めれば良いかわからないという方は、「高専キャリアONLINE」と検索してください！

最後に、周りに流されず、自分の目標に向けて努力をしていきましょう！

進学



ゆるゆると進路を決めて

5C 山本 茉那
(山ノ内町立山ノ内中学校出身)

私が進学を決意したのは4年生の2月、進路に対する超楽観、漠然とした「なんとかなるだろう」という考えが、「なんとかせねば」に変わった頃でした。そんなとき、気になっていた大学のOGである先生に親身に相談に乗って頂き、自分のやりたいこと、そのための進学を考え始めました。もし、今進学について悩んでいる4年生がいたら、抱え込まず周りに相談してみてください。必ず力になってくれるはずです。

スタートが遅いと、過去問を見て絶望的になるので、計画的な進学準備をお奨めします。

就職編

先輩からの声

- 自分のやりたいことを明確にしよう。
- 学生のうちにやりたいことをやったほうがいい。
- 面接練習はいろんな先生にお願いしてやってもらおう。
- 面接では質問に対して一言で答えるのではなく、何故そう思うのかを具体的に述べるとよい。
- 就活に早いと言うことはない！早くから企業研究をしよう！
- 授業の内容や作った物について面接で深いところまで聞かれたので、しっかりと理解しておけばよかった。
- 何事にも一生懸命に取り組もう！
- なにか1つでもアピールポイントがあるとだいぶ有利になる。
- 調べるだけでは会社の雰囲気などがわからないので、積極的にインターンシップに行こう！
- 妥協せずに絶対にこの企業でなければだめだと思えるような企業を探そう！
- なにかからすればよくわからなかったらとりあえず先生に相談しよう。先生はたくさんの企業を知っています。
- 就職したらなにをしたいかを明確にするとある程度業種や会社が絞れる。

進学編

先輩からの声

- 志望校は早めに決めた方がいい。
- 3、4年で高い成績を取っておけば、推薦が狙える。
- 大学で何がしたいのか、その大学を卒業して何がしたいのか決めておく。進学を漠然とした目的にしない。
- 試験科目が年度ごとに変更されることがあるので、受験の要項はよく確認しておく。
- 試験の過去問には解答がない場合もあるので、早めに入手して科目の先生と解答を作ることから始めるとうまい。
- ネットやパンフレットのみだと分からないことが多いので、オープンキャンパスなどを活用して実際に大学に行ってみよう。
- 第二希望や滑り止めは、志望校と似た試験科目のところを選ぶと勉強しやすい。
- TOEIC スコアが必要になる学校もあるので、4年生のうちに高いスコアを獲得しておくとうまい。
- 勉強はだいたい計画通りには進まないで、早めに始める。
- 大学選びに迷ったときは、学科の先生に相談するとうまいアドバイスがもらえる。
- 授業の内容を定期テストごとに理解しておく、受験勉強が楽になる。
- 自分の長所やアピールできること、成長したことを意識して生活しておく、面接で答えやすくなる。
- 面接は先生に心が折れるくらい練習してもらおうと、本番で緊張しにくい。
- 勉強すれば偏差値が高い学校にも意外といけるので、とにかく諦めずに勉強する。

第56回 工績祭

ライブ配信大成功

昨年度よりさらにパワーアップしたライブ配信でした。
ご視聴くださった皆様、本当にありがとうございました。



第56回工績祭は対面+オンラインのハイブリッド開催でした。
制限の多い中、高専生が「魅せた」今年度の工績祭を振り返ります！



最高のパフォーマンス ステージ企画

限られた練習時間の中、
各団体が練習の成果を遺憾なく発揮しました。



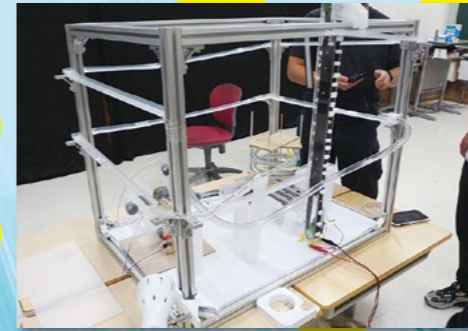
オンライン トークライブ

Break through



藤澤選手による トークライブ

東京2020パラリンピック車いすバスケットボール男子で銀メダルを獲得した本校専攻科修了生の藤澤選手によるトークライブを行いました。貴重なお話をお聞きできました。



学科紹介

長野高専での学習内容を知っていただける
よい機会になりました。



各種企画

部・同好会企画

各団体の個性が溢れる素晴らしい企画の数々でした。



クラス企画

企業とコラボした企画にチャレンジしたクラスもあり、例年以上に高い技術力を発揮した魅力的な企画になりました。

ROBOCON

第34回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2021

今年の競技テーマ「超絶機巧(すごロボ)」は、製作した「すごい!技のロボット」がパフォーマンスを行います。

関東甲信越地区大会は10月31日にオンラインで開催されました。本校Aチーム「BAKUSOKU★DOMINO 2.0」はドミノを立てるロボット、Bチーム「雨のミュージカル」は傘を操るロボットを製作しました。Aチームは技術力が評価されてロボコン3賞の1つである技術賞を受賞し、Bチームは人とロボットがコラボしたダンスが評価されて全国大会に推薦されました(長野高専の全国大会出場は7年連続)。

全国大会は11月28日に両国国技館で開催されました。2年ぶりのリアル開催でしたが、本校Bチームはノームスでパフォーマンスを行い、特別賞(田中貴金属グループ)を受賞しました。

Aチーム



去年のリベンジ

4M 海川 智祐(松本市立筑摩野中学校出身)

今年のAチームは、昨年失敗したドミノ倒しに再挑戦しました。今年はロボットの構造からドミノの大きさまで全てを見直しました。コロナ禍で活動時間が制限される中、オンラインで話し合いを進めながら製作時間を確保しました。地区大会では2分間で220個のドミノを全て立てることができ、技術賞をいただきました。全国大会には出場できませんでしたが、自分たちの作りたいロボットを作ることができ、とても楽しい1年でした。来年は全国大会での活躍を目指し、より素晴らしいロボットを作りあげたいです。皆さんもロボコンに挑戦してみませんか?



ドミノを倒した後

Bチーム



ついに「夢の舞台」へ

4S 小嶋 蒼依(中野市立南宮中学校出身)

Bチームはすご技として、空気抵抗が大きく高難易度の傘の投げ上げに挑戦しました。私は、ロボットが投げた傘をキャッチし、一緒にダンスを踊る役割を担当しました。

地区大会ではミスが少しありましたが、全国大会の切符を手にすることができました。全国大会は2年ぶりに国技館開催となり、短期間で新たに製作したロボットで臨みました。改良して約3m舞い上がるようになった傘のキャッチを成功させ、完璧なパフォーマンスを披露できました。その結果、技術の達成度で満点をいただき、特別賞を受賞しました。1年生の頃から憧れていた「夢の舞台」で自分たちの力を全て出し切ることができ、本当に幸せで、最高に楽しかったです!



ロボット名【ぴちゃん】

地区大会



Aチーム



パフォーマンス中



Bチーム



すご技プレゼン

全国大会



国技館で皆でテスト勉強中



応援団

大会結果

- 長野高専 Aチーム 地区大会 技術賞受賞
- 長野高専 Bチーム 全国大会 特別賞(田中貴金属グループ)受賞

PROCON

第32回全国高等専門学校プログラミングコンテスト

プロコンが10月9日・10日に秋田高専主管でオンライン形式にて開催されました。

本校からは課題部門と競技部門に各1チームずつがエントリーし、6月26日に行われた予選を通過して10月の本選に臨みました。課題部門は「楽しく学びあえる!」という題材で、本校の「ARLD-ブロックプログラミングによるAR体験-」(3J村山大樹・3J西澤駿太郎・3J佐藤悠太・3J安富袖希・1S小島拓也)はブロックを並べてプログラミングを行うシステムです。ブロックを並べて動物などの動きをプログラムすると、ARグラス(拡張現実メガネ)の視界に動物などがあらわれ、目の前の世界をプログラム通りに動物などが動き回ります。ARグラスを複数使うことでほかの生徒が作成した世界に入り込むことができます。先生や保護者向けの機能も充実しており、セキュリティにも配慮した設計がなされています。本作品は課題部門の3位に相当する特別賞を受賞しました。

競技部門は、最大16×16個のバラバラの画像を、回転と隣接するピースとの交換という2つの操作のみで元画像に復元する精度と速度を競う8チーム同時対戦ゲームで競われました。本校の「高専の応用呪術II B」(4J石田光・3J島崎健太・1E酒井力輝人)は天文学的な組み合わせパターンのなかからきわめて高速に元画像を復元するアルゴリズムを実装しています。1回戦と準決勝をとともにグループ1位通過した本校チームは決勝戦で4位となりました。審査員が選ぶ特別賞にも選ばれました。

競技部門に出ました

3J 島崎 健太(甲府市立北東中学校出身)



情報技術研究部のメンバーで、プロコンに参加しました。今年度はコロナ禍で、対面での部活動をするのが難しく、夏休み中はオンラインでのミーティングを中心に開発を進めました。私が主に担当した競技部門は、元画像の推測や、いかに少ない手数でパズルを解くか、というように数段階に渡る問題であり、かなり手応えがありました。特に回転している断片画像の制御に苦しみましたが、画像が完成したときの達成感は格別で、プログラミングの楽しさを感じられる課題でした。来年度はチームメンバーを増やしつつ、技術力を高めて参加したいです。

課題部門



ARメガネから見える風景



プログラミング画面

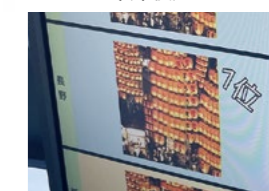


課題部門発表中の様子

競技部門



これ(↑)を...
こう(↓)復元します



ECONOPOWER

Ene-1 GP MOTEGI

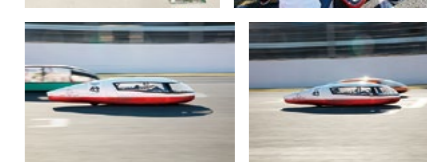
「Ene-1 GP」は電動車の燃費競技大会です。毎年、鈴鹿サーキットとツインリンクもてぎの2つの会場で1回ずつ開催されます。単三型充電式電池40本の限られたエネルギーでどれだけ速く走れるかを競うのですが、軽量で高剛性かつ空気抵抗が少ない車体の製作や駆動部の効率向上などの技術と、限られたエネルギーの中で速さを追求するエネルギーマネジメントが必要です。Ene-1 GP MOTEGI では、1周の速さを競う「ONE LAP タイムアタック」と耐久レースの「e-kiden90分ロングディスタンス」の両方を1回の充電で走ります。本校エコノパワー部は車両重量35kg以上のKV-2クラスへ出場し、大学・高専・専門学校部門で2位に入賞しました。

Ene-1 GP MOTEGIへの参加

4C 西村 俊亮(信州大学教育学部附属長野中学校出身)



エコノパワー部では、11月14日にツインリンクもてぎで開催されたEne-1 GP MOTEGIへ参加しました。今年度も新型コロナウイルスにより中止になってしまった大会がありましたが、部内の技術の伝承のために参加しました。ブレーキの不調や練習走行で十分な走行が行えないなどの不安要素もありましたが、大会の「ONE LAP タイムアタック」では部内最高位の9位を、総合順位ではKV-2の高専部門で2位を獲得することができました。この学年として大会に参加して感じたのは、後輩がとても優秀だということです。部活としても、コロナによる影響はありますが、今後も技術を磨いてより良い成績を残せるように頑張っていきたいと思います。



Speech Contest

第36回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会

今年度の関東信越地区英語弁論大会も動画審査で行われ、松下一步さん(4E)が2位入賞を果たし全国大会に進むことになりました。地区大会に先立って校内オーディションが開催され、以下の5名が参加いたしました。

レシテーション部門

山口 果凛(1-1S) “2HJ Volunteers Speak”
依田 菜七巳(1-1C) “My Father”

スピーチ部門

山岸 翔梧(2-3J) “What is Peace?”
松下一步(4E) “Thinking Socializing in the View of Electric Circuit Reflection”
小林 美月(5M) “Hello and Good-bye”

レシテーション部門は3分、スピーチ部門は5分で原稿を作成し、暗記して撮影を行います。事前にケント先生にネイティブチェックをしていただき、練習を重ね完成度の高いものに仕上げてください。毎年GW明け頃に告知があるので、英語で自分の意見や提案をしてみたいと思ったみなさんはぜひご参加ください！



4年目の英語弁論大会

4E 松下一步(大町市立美麻小中学校出身)



スピーチコンテストはテーマが自由です。専門分野、人生観、歴史など様々な視点からスピーチを組み立てられるので非常に面白いです。僕は今回4年目の参加となり、「電気回路から考える人付き合い」というテーマでスピーチをしました。また自分が興味のあることだからこそ、相手に伝えたいし知ってもらいたい！そのための工夫を積み重ねることでプレゼン力が向上します。使い慣れた日本語ではなく、英語だからこそ、自分の殻を破った大胆な表現ができるのです。ぜひ来年挑戦してみませんか？

全国高専大会出場団体一覧

記事で紹介している他にも、以下の団体が全国高専大会に出場しています。

全国高等専門学校体育大会

- 陸上競技部(大会辞退)
- 弓道部(通信大会)
- 剣道部
- 男子バスケットボール部
- 軟式庭球(ソフトテニス)部
- 卓球部
- 硬式野球部
- 水泳部

全国高等専門学校大会

- 囲碁・将棋部(将棋・団体戦初優勝)
- デザインコンテスト(構造デザイン部門)

陸上競技部

「より上を目指して」

陸上競技部はインターハイ路線(1~3年生)やインカレ路線(4年生以上)、高専大会(1~5年生)での活躍を大きな目標にしています。直近5年では、男子2名女子2名がインターハイに出場(入賞1名)、1名が日本インカレに出場しています。

陸上競技は個人種目ですが、入賞順位により与えられる点数を合算して行う学校対校もあります。近年、地区大会では優勝争いをする年が多くなり、強豪校と言ってもいいくらいです。本年度の夏の総体は男子総合2位、秋の新人戦は総合優勝でした。女子は部員数が少ないので、学校対校には絡みませんが、全員が県大会に進むなど、少数精鋭で頑張っています。

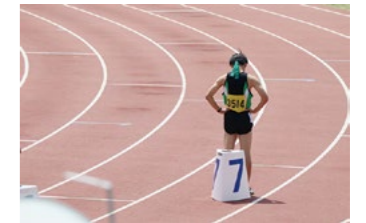
この活躍を支えているのは日々の練習です。自由な雰囲気の中で行っているため、伸び伸び練習しています。1~3年生は毎日練習に取り組み基礎を固めています。また、仲が良く、いい仲間関係の中で活動できています。やるからには、より上を目指して頑張って活動していくので注目してください！



インターハイを終えて

3C 永原 璃桜(信濃町立信濃小中学校出身)

私は福井県で行われたインターハイに2種目で出場させていただきました。それぞれ自己ベストタイム、セカンドベストと大舞台でも物怖じせず普段通りの自分でいられたことは、今後競技する上での自信に繋がりました。しかし、私はインターハイに出場できず好記録も残せたことに満足してしまい、あまり悔しいという感情が湧きませんでした。敗退して悔しいと思えなかったこと、それが1番悔しいです。4年生以降もこの経験をバネに全国でも活躍できるような選手になれるよう頑張っていきます。



フェンシング

第67回全国高等学校フェンシング選手権大会



11年やってきたフェンシング

2-3(C) 登内 雄心
(伊那市立東部中学校出身)

僕は保育園年中の頃からフェンシングのフルーレをやっています。中学3年からは、今年の東京オリンピックの団体戦で日本が優勝し有名になったエペもやっています。これまで僕は全国小学生フェンシング大会や、全国中学生フェンシング選手権大会など、たくさんの試合に出場しました。僕は、第67回全国高等学校フェンシング選手権大会にエペで出場しました。そこで僕は予選を通過することができましたが、その次のトーナメントで負けてしまいました。来年度のインターハイにも出場し、もっと上を目指したいです。



後援会だより

後援会事務局

〒381-8550 長野市大字徳間716 学生食堂2F
TEL・FAX (026)236-9305
E-mail: nctkouen@sea.plala.or.jp
事務局員 小林 啓子

令和3年度後援会総会報告

令和3年度後援会総会は、6月12日(土)午後15時10分より長野市「ホテルJALシティ長野」において、開催されました。コロナ禍の総会であるので、大変残念ではありますが役員の数制限を行いました。昨年は「書面議決」で審議されました。今年度対面で総会が開催されたことは意味深いことだと思います。議事は令和2年度活動について、会務・事業・決算報告、令和3年度活動について、会務計画(案)・事業計画(案)・予算(案)の議案は慎重審議の結果、いずれも原案通り賛成多数により可決されました。学生の支援ですが、コロナの影響で中止やオンラインになった大会もありますが、去年よりかなり活動ができるようになってきました。コロナの終息が見えない中ですが、今後とも学生の支援に力を注ぎたいと思います。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。



令和3年度予算および令和2年度決算報告

【収入の部】

(単位:円)

科目	R3年度予算	R2年度決算	備考
入会金	3,780,000	3,930,000	新入生 20,000/1人・編入生 10,000/1人
会費	20,767,500	20,455,500	19,500/1人
特定預金取崩収入	1,500,000	0	財政安定化基金取崩
その他収入	500	8,743	預金利息・雑収入
繰越	4,043,498	3,415,389	
合計	30,091,498	27,809,632	

【支出の部】

(単位:円)

科目	R3年度予算	R2年度決算	備考
課外活動助	14,268,000	3,810,158	部活動・高専体育大会旅費・ものづくり支援
教育援助	3,623,750	2,449,547	教育支援・学校行事・専攻科・学生図書
その他援助	5,810,000	5,329,060	学生指導・寮生・国際交流・教員課外活動等支援
運営費	4,986,000	4,198,569	会議費・役員旅費・支部運営費・事務費・給与・慶弔費
特定預金	300,000	5,000,000	事故対策・周年事業・財政安定化積立
予備費	1,103,748	2,978,800	緊急を要する支出(R2年度はコロナ対策費用補助)
合計	30,091,498	23,766,134	

校内短信 INFORMATION

桜風寮(国際寮)が完成しました

令和3年10月8日(金)に桜風寮(国際寮)が竣工し、令和3年12月13日(月)には完成披露式が開催されました。完成披露式ではご出席いただいた御来賓によるテープカットが行われ、式典は学生の司会進行で開催されました。その後はEnglish Boot Campや日本語使用禁止のe-sports イングリッシュなど、学生の生き生きとした活動風景を実際に見学していただきました。国際的な視野を持ち海外で活躍できる技術者を育成するため、留学生と日本人学生の共同生活が可能なシェアハウス型の寮として今後の活用が期待されています。



表紙のことは

アルデバラン、3世代に引き継ぐ物語

一般科教授 大西 浩次

東の空に**すばる(プレアデス星団)**が昇ってから約1時間後、おうし座の一等星、**アルデバラン**が昇ってきます。アルデバランは、和名で**後星(あとぼし)**と呼ばれていました。すばるを追って昇ってくるからです。ちなみに、この**アルデバラン**という名前は、**すばるの後を追って昇る**という意味のアラビア語に由来します。さらに、この約2時間後には、オリオン座が昇ってきます。ところで、AIが歌う朝の連続ドラマの主題歌のタイトルは「アルデバラン」、3世代に引き継ぐ物語から由来するという。写真は、冬の時期の東の空から連なって昇ってくる星たちだ。その星を追うように野兔の足跡がオリオン座へと繋がってゆきます。まさに、前の世代から知恵や知識を受け継ぎ、次世代へと繋いで行く皆さんのように。

撮影日時: 2021年12月9日午後21時ごろ
場所: 志賀高原 撮影者: 大西浩次

(注) M.E.S.J.Cと記す場合は、それぞれ、機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、電子情報工学科、環境都市工学科の略称です。また、AP、AEと記す場合は、それぞれ、専攻科生産環境システム専攻、専攻科電気情報システム専攻の略称です。

「学園だより」バックナンバーは以下にアクセスすることにより、PDFでダウンロード可能です。 <https://www.nagano-nct.ac.jp/>